

V 広域推進事項

1 担い手

(1) 対象地域の現状（担い手）

ア 新規就農者

管内の新規就農者数は、過去5カ年で461名であるが、市町村によりその内訳には差があり、新規学卒・Uターン就農が約9割を占める（表1）。多様な新規就農者の育成のため、普及センターは、各地域で指導農業士・農業士や関係機関と連携した農業基礎講座を開講している。

管内全域では、農村ゼミナール「特別講座」や「青年アグリフォーラムin十勝」の開催により青年農業者の学習・交流の場を設けている。青年アグリフォーラムin十勝では、管内の4Hクラブが昭和63年から休止となっている上、青年学習グループ数が少ないことから、実行委員や参加者の参集に苦慮する地域もある。

農業大学校、農業高等学校とは、就学中から普及センターや地域とのつながりを作り、就農意欲を高めるよう連携を図っている。

表1 十勝管内の新規就農者数

区分	人数					
	H30	R1	R2	R3	R4	計
新規学卒	45	34	50	38	49	216
Uターン	23	24	60	53	32	192
新規参入	11	12	11	10	9	53
計	79	70	121	101	90	461

イ 女性農業者

十勝管内では、農業従事者の45%を女性農業者が占めている。中でも、経営改善、活動に対する意欲が高く、自主的な活動を行う女性農業者に対して、普及センター各地域係は、必要に応じた支援を行っている。一方で、指導農業士や地域からは、女性農業者の学習機会の創出や家族経営における活躍状況について情報交換を望む声もある。

十勝総合振興局農務課と連携し運営支援を行っている管内の女性グループネットワーク「あおぞらネット」は、情報交換や交流を図り資質向上につなげる目的で「十勝農村女性のつどい」を開催してきた。令和2年に20周年を迎えたが、会員の減少と高齢化が進んでいることから、令和3年度に名称と規約を改正し、会員の増加と活動の活性化を目指している。

ウ 指導農業士・農業士

十勝管内には、指導農業士100名、農業士249名（令和6年2月現在）が認定されており、「十勝指導農業士・農業士会」の研修会等を通して自己研鑽を行っている。各地域及び広域の農村ゼミナール講師や体験学習受入等により担い手指導を担っているものの、活躍する会員は限られており、より幅広く役割発揮できる環境づくりが求められている。

エ 組織経営体

十勝管内には、平成29年度は530戸の農地所有適格法人があったが、令和4年度は599戸と69戸増加した。法人化のメリットである休日制や社会保険等の整備が必要なほか、経営体内部での後継者の育成や組織内人材の確保・育成が必要となっている。

オ 地域農業支援組織

地域農業支援組織の管内組織として、十勝TMRセンター連絡協議会（15組織加入）、十勝ほく育成牛受託協議会（10組織加入）がある。普及センターは、主査（畜産）を中心に管内の畜産担当で支援チームを組み、事務局支援等を通じて研修会や組織運営を支援している。協議会では、技術向上のための情報交換、支援組織における人材の確保・人材育成や家畜伝染病発生時の対応について支援を求められている。

(2) 改善方向と対策（担い手）

ア 新規就農者の育成・確保

- (ア) 管内の新規就農者の動向を把握する。
- (イ) 多様な担い手のニーズに応える農村ゼミナールの特別講座を開講することで、学習の機会を創出し、経営感覚を備えた担い手の育成を推進する。
- (ウ) 地域・広域の農村ゼミナールを通じて生産技術習得や経営改善の意欲を高めることで、プロジェクト活動や青年アグリフォーラムin十勝への参加を促す。
- (エ) 青年アグリフォーラムin十勝の開催目的の再確認、および交流プログラムや開催時間等の内容を再検討することにより、実行委員の確保や参加者の増加につなげることで活性化を推進し、新規就農者を中心とした多様な担い手の研鑽、交流の場を創出する。
- (オ) 農業大学校・農業高等学校など教育機関、地域との連携を図り、就農者の確保と就農後のスムーズな学習活動と地域活動の動機付けを行う。

イ 地域をリードする女性農業者の育成

- (ア) 青年アグリフォーラムin十勝、農村ゼミナール特別講座等を通じて、経営参画、地域活動を実践する女性農業者を育成する。
- (イ) 女性ネットワークの活動活性化を支援する。

ウ 指導農業士・農業士との連携促進

- (ア) 農村ゼミナール特別講座等において、指導農業士・農業士と連携した実践的な担い手指導を実施する。
- (イ) 十勝指導農業士会・十勝農業士会の活動支援を通じて、管内担い手育成における連携を強化する。

エ 組織経営体の育成・発展

- (ア) 経営体従業員に対して、農業基礎講座等を通じて学習の場を提供する。
- (イ) 経営体内の人材確保、労務管理や人材育成についての情報を収集・蓄積・加工・提供する。

オ 経営体を支える地域農業支援組織の育成・強化

- (ア) 各支援組織、協議会会員における共通の課題解決のため、支援チームおよび地域係と連携し活動を行う。
- (イ) 支援組織内の人材確保、労務管理や人材育成についての情報を収集・蓄積・加工・提供する。

(3) 推進事項 (担い手)

推進事項		多様な担い手の確保・育成
主な活動目標		<ul style="list-style-type: none"> ・経営感覚を備えた担い手の育成 ・多様な担い手の確保 ・組織内人材確保、育成の支援
活 動 年 次	R 3 (実績)	<ul style="list-style-type: none"> ・指導農業士、農業士と連携した実践的な農村ゼミナール特別講座の開催 (農産 13名、畜産 7名) ・アグリフォーラム in十勝の活性化推進 (実行委員 7名、農業青年の参加者 44名) ・教育機関との連携による新規就農予定者への動機付け (農大キャリアサポート 1回、高校との連携事業 3回) ・法人経営、支援組織等における人材確保・育成の情報収集、蓄積 (ほ育協議会会員への実態調査および結果の共有、帯広刑務所と連携した法人、支援組織等の人材確保)
	R 4 (実績)	<ul style="list-style-type: none"> ・指導農業士、農業士と連携した実践的な農村ゼミナール特別講座の開催 (青年農業者 11名、講師(農業士) 1名、指導農業士(参加者) 1名) ・アグリフォーラム in十勝の活性化推進 (実行委員 7名、青年農業者の参加者 46名) ・教育機関との連携による新規就農予定者への動機付け (農大キャリアサポート・講義実施、高校との連携授業 3回) ・法人経営、支援組織等における人材確保・育成の情報収集、蓄積、加工提供 (とちあグリワークとの連携におけるマニュアル作成、帯広刑務所出所者の雇用就農 1名)
	R 5 (実績)	<ul style="list-style-type: none"> ・指導農業士、農業士と連携した実践的な農村ゼミナール特別講座の開催 (青年農業者 18名、講師(指導農業士 1名、農業士 1名)) ・アグリフォーラム in十勝の活性化推進 (実行委員 6名、青年農業者の参加者 29名) ・多様な担い手の確保に向けた教育機関・関係機関との連携推進 (農大キャリアサポート 1回、高校との連携事業 4回) ・法人経営、支援組織等における人材確保、育成の実践支援 (とちあグリワークとの連携による農作業安全動画作成)
	R 6 (計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・経営感覚を養う農村ゼミナール特別講座の開催 ・アグリフォーラム in十勝の運営支援 ・多様な担い手の確保に向けた教育機関・関係機関との連携推進 ・法人経営、支援組織等における人材確保、育成の実践支援
	R 7 (計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・経営感覚を養う農村ゼミナール特別講座の開催 ・アグリフォーラム in十勝の運営支援 ・多様な担い手の確保に向けた教育機関・関係機関との連携推進 ・法人経営、支援組織等における人材確保、育成の実践支援

(4) 具体的推進計画（担い手）
多様な担い手の確保・育成

活動項目	支援対象	活動内容と方法	担当者	連携機関
・経営感覚を備えた担い手の育成	新規就農者 女性農業者 法人従業員 支援組織従業員 研修生	①指導農業士、農業士を講師とした実践的な農村ゼミナール特別講座の開催 ②青年アグリフォーラムin十勝実行委員会への支援	浦中主査 三上主普 石川(大)主査 高橋普指 田川専主 笠井係長 納谷専普 住野普指	十勝指導農業士・農業士会 十勝総合振興局農務課
・多様な担い手の確保	管内農業高等学校生徒 農業大学校学生	①キャリアサポート、連携事業を通じた農業高校生、農業大学校生に対する就農後の具体的な学習活動、地域活動の紹介		十勝管内農業高等学校 北海道立農業大学校 十勝総合振興局農務課
・組織内人材確保、育成の支援	管内農業生産法人 管内支援組織等	①十勝管内外の農業生産法人、農業支援組織等における人材確保、育成に関する情報・事例の収集及び提供		十勝総合振興局 十勝農業協同組合連合会